

愛と希望の復興：宮城県岩沼市 ペアリング支援ニュース

6/4 に岩沼市玉浦公民館で

「みんなで描く ふるさとの再生 ワークショップ」が開催されました。

6/4日曜日に岩沼市の玉浦公民館で、沿岸域を含む玉浦全体の復興をテーマとした「みんなで描く ふるさとの再生 ワークショップ」が開催されました。

最初に、玉浦西地区の復興まちづくりの経緯、先祖が創り上げた沿岸の松林と集落の歴史、先進事例である静岡県三島市のNPO法人グラウンドワーク三島における地域再生の取り組みをVTRで共有し、これからの玉浦地区の復興に向けた課題、将来イメージを話し合いました。また、NPO法人グラウンドワーク三島事務局長の渡辺豊博さんにお話を聞き、玉浦における地域再生の可能性について話し合いました。

その後、3つのグループに分かれて地域資源の洗い出しを行い、公園づくりやアグリツーリズム、羊の牧場づくり、菜の花栽培など、バラバラに進んでいた取り組みをどう一つにまとめて発展させ、自分たちが考える魅力的な街に創りあげるのか、連携の可能性や観光資源について話し合いました。経営戦略を含め、住民の方々の生きがいの発見につながるような地域再生とは何かを考えました。

最後に各グループが発表を行い、考えた魅力やテーマについて共有し、玉浦の再生を成功させようという気持ちをより一層深めました。今回の様子は6/26(日)10:05からNHKで放送予定です。



ファシリテーターとして参加した人間総合理工学科と環境デザイン研究室のメンバー



発表後の石川先生の講評



A班のグループワーク



B班のグループワーク



C班のグループワーク



A班のテーマは「何度も来たくなるまち」。玉浦地域の地域資源に光をあて、魅力的な沿岸域の再生を提案した。



B班は「つなぐ」をテーマに発表。貞山堀等のグリーンインフラを生かした食のネックレスを提案。



C班のテーマは「玉浦の美味しいものの発見」。食を切り口に、地域資源の発掘から岩沼の復興を提案した。